

謹賀新年



美浦村長
中島 栄

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、新しい年をご健勝にてお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

本年も皆さまのご期待に応えられるよう「人と自然が輝くまち 美浦」の村政運営の先頭に立ち、行政と議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと様々な出来事がありました。

令和6年元旦に発生しました、能登を震源とする「令和6年能登半島地震」は甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々に謹んで深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、今もお現地で支援にあたられている方々に敬意を表します。一方、国際情勢に目を転じれば、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東における紛争激化など、依然として不安定な状況にあり、エネルギーや食糧価格が高騰し、我々の生活にも大きな影響を及ぼし続けています。さらに、地球温暖化の影響

による異常気象が常態化しており、夏の平均気温が過去最高を記録。世界各地で自然災害が頻発化・激甚化しております。台風、噴火、地震、積雪等の災害がいつ起こるか予測するのは非常に困難です。

本村では、想定外の有事にも「備えあれば憂いなし」、予防・防災訓練等を村民の皆さまが参加・体験できる形で実施してまいります。皆さまにおかれましても防災意識を高く持ち、いざという時に速やかに行動できるよう日頃からの備えをお願いいたします。

全国の町村では少子高齢化が進み、深刻な状況が続いています。しかし、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていかねばなりません。魅力ある地域社会を継続していくためには、村民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展につながります。

今年、美浦村誕生70周年という節目の年です。また春には、村内の三小学校が統合し、美浦村立美浦小学校の開校が控えています。伝統ある本村で、緑豊かな環境の中、子どもたちが心豊かに美浦小学校の歴史を刻んでいくことができるよう、地域の皆さまにも引き続き力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後も「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らが村づくりに参加され、「自分たちの村は、自分たちで創り守る」を念頭に、ともに発展していくよう、協働のまちづくりを推進してまいります。

結びに、村政へのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和七年 新春